

第11章 特別活動

1 特別活動における「評価の観点」とその趣旨について

特別活動においては、改善等通知において示されたように、特別活動の特質と学校の創意工夫を生かすということから、設置者ではなく、「各学校で評価の観点を定める」としている。このため本章では、特別活動の学習評価が効果的に行われるようにするために、各学校において特別活動の観点とその趣旨、並びに評価規準を作成する際の参考となるよう、「評価の観点」とその趣旨並びに「内容のまとまりごとの評価規準」の作成の手順を説明するものである。

2 中学校特別活動の内容のまとまり

小学校特別活動における内容のまとまりは、以下のようになっている。

- 学級活動・・・（１）学級や学校における生活づくりへの参画
（２）日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
（３）一人一人のキャリア形成と自己実現
- 生徒会活動
- 学校行事・・・（１）儀式的行事，（２）文化的行事，（３）健康安全・体育的行事，
（４）旅行・集団宿泊的行事，（５）勤労生産・奉仕的行事

3 中学校特別活動の「評価の観点」とその趣旨，並びに「内容のまとまりごとの評価規準」作成の基本的な手順

学習指導要領の特別活動の目標及び各学校の実態を踏まえて、特別活動の「評価の観点」を設定する。「内容のまとまりごとの評価規準」は、学習指導要領の「特別活動の目標」と改善等通知を踏まえ、特別活動の特質に応じた形で作成する。「評価の観点」とその趣旨，並びに「内容のまとまりごとの評価規準」作成の具体的な手順については、次ページ以降に記載している。

- ① 学習指導要領の「特別活動の目標」と改善等通知を確認する。
- ② 学習指導要領の「特別活動の目標」と自校の実態を踏まえ、改善等通知の例示を参考に、特別活動の「評価の観点」とその趣旨を設定する。
- ③ 学習指導要領の「各活動・学校行事の目標」及び学習指導要領解説で例示した「各活動・学校行事における育成を目指す資質・能力」を参考に、各学校において育成を目指す資質・能力を重点化して設定する。
- ④ 観点ごとのポイントを踏まえ、「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する。

4 中学校特別活動における「評価の観点」とその趣旨、並びに「内容のまとまりごとの評価規準」の作成の具体的な手順

① 学習指導要領の「特別活動の目標」と改善等通知を確認する。

【各学校における特別活動の観点の設定の仕方について】

初等中等教育局長通知（H 3 1. 3. 2 9）（改善等通知）では次のように示されている。

（前略）評価の観点については、中学校学習指導要領等に示す特別活動の目標を踏まえ、各学校において別紙 4 を参考に定める。その際、特別活動の特質や学校として重点化した内容を踏まえ、例えば「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」などのように、より具体的に定めることも考えられる。（後略）

【中学校特別活動の目標】

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

② 学習指導要領の「特別活動の目標」と自校の実態を踏まえ、改善等通知の例示を参考に、特別活動の「評価の観点」とその趣旨を設定する。

各学校においては、中学校学習指導要領に示された特別活動の目標及び内容を踏まえ、自校の実態に即し、改善等通知の例示を参考に観点を作成する。その際、例えば次に示すように、特別活動の特質や学校として重点化した内容を踏まえて、具体的な観点を設定することが考えられる。

【特別活動における「評価の観点及びその趣旨」をもとにした例】

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。	所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法を話し合い、合意形成を図ったり、	生活や社会、人間関係をよりよく構築するために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しよう

自己の生活の充実・向上や自己実現に必要な情報及び方法を理解している。 よりよい生活を構築するための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身に付けている。	意思決定をしたりして実践している。	としている。 主体的に人間としての生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとしている。
---	-------------------	---

【特別活動における資質・能力の視点（「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」）をもとに重点化を図った例】

集団や社会に参画するための知識・技能	協働してよりよい生活や人間関係を築くための思考・判断・表現	主体的に目標を立てて共によりよく生きようとする態度
多様な他者と協働し、集団の中で役割を果たすことの意義や、学級・学校生活を改善・向上する上で必要となることを理解している。 よりよい生活や社会の構築に向けた話し合いの手順や合意形成の図り方などの技能を身に付けている。	多様な他者と協働して、よりよい生活や社会、人間関係を構築するために、集団や個人の課題について話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりして実践している。	学級や学校、社会の構成者としてのこれまでの自分を振り返り、現在及び将来の自己実現に向けて目標をもって努力し、協働してよりよく生きていこうとしている。

【特別活動における資質・能力の視点（「人間関係形成」）をもとに重点化を図った例】

互いのよさを生かす関係をつくるための知識・技能	協働してよりよい集団生活を築くための思考・判断・表現	主体的に多様な他者と関係をつくろうとする態度
個と集団との関係性および集団活動の意義を理解し、社会生活におけるきまりやマナーに則った行動の仕方を身に付けている。	様々な場面で、自分と異なる考えや立場にある他者を尊重して認め合い、支え合ったり補い合ったりして協働することができる。	様々な集団に積極的に所属し、他者の価値観や個性を受け入れ、新たな環境のもとで互いの可能性を発揮できる関係を築こうとしている。

【特別活動における資質・能力の視点（「社会参画」）をもとに重点化を図った例】

集団の一員として活動するために必要な知識・技能	集団や社会をよりよくするための思考・判断・表現	よりよい社会の形成に向けて主体的に自己を生かす態度
学級・学校集団や社会生活の中で他者と協力して役割を果たすことの意義を理解し、そのため	学級や学校、社会生活の充実・向上のために課題を発見し、集団としての解決方法を合意	現在及び将来の自己の活動や役割を振り返ることで、成長や課題を認識し、これからの集団

の話し合いの進め方を身に付けている。	形成したり、個人としての実践目標を意思決定したりできる。	生活の改善に生かそうとしている。
--------------------	------------------------------	------------------

【特別活動における資質・能力の視点（「自己実現」）をもとに重点化を図った例】

将来の自己と学びを結びつけるために必要な知識・技能	自己の生活課題を改善するための思考・判断・表現	主体的に人間としての生き方を選択しようとする態度
将来の社会的・職業的な自立と現在の学習とのつながりを理解し、自己の生活をよりよくするために個性を活かす方法を身に付けている。	集団の中で、個々人が共通して直面する現在及び将来に関わる課題を発見するとともに、必要な情報を収集・整理して考察し、解決に向けて意思決定できる。	日常生活や自己の在り方を自主的に改善するとともに、将来を思い描き、自分らしい生き方を主体的に選択しようとしている。

③ 学習指導要領の「各活動・学校行事の目標」及び学数指導要領解説で例示した「各活動・学校行事における育成を目指す資質・能力」を参考に、各学校において育成を目指す資質・能力を重点化して設定する。

学習指導要領解説では、各活動・学校行事の内容ごとに育成を目指す資質・能力が例示されている。そこで、学習指導要領で示された「各活動・学校行事の目標」及び学習指導要領解説で例示された「資質・能力」を確認し、各学校の実態に合わせて育成を目指す資質・能力を重点化して設定する。

④ 観点ごとのポイントを踏まえ、「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する。

特別活動の目標や各活動・学校行事の目標、各学校で設定した各活動・学校行事において育成を目指す資質・能力を踏まえて、「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する。

*各学校で作成した評価の観点や目指す資質・能力をもとに、学習指導要領で示された各活動・学校行事の「内容」に即して、評価規準を作成する。

【評価規準の作成のポイント】

○「知識・技能」の評価規準の作成について

- ・「知識・技能」は、話し合いや実践活動における意義の理解や基本的な知識・技能の習得として捉え、評価規準を作成する。
- ・学習指導要領解説における資質・能力の例に示されている内容の意義を確認する。
- ・文末を「～を理解している。」「～を身に付けている。」とする。

○「思考・判断・表現」の評価規準の作成について

- ・「思考・判断・表現」は、話し合いや実践活動における、習得した基本的な知識・技能を活用して課題を解決することと捉え、評価規準を作成する。

- ・「表現」は、これまでと同様に言語による表現にとどまらず、行動も含んで捉えることとする。
- ・文末を「～している」「～することができる」とする。
- 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の作成について
 - ・「主体的に学習に取り組む態度」は、自己のよさや可能性を発揮しながら、主体的に取り組もうとする態度として捉え、評価規準を作成する。
 - ・身に付けた「知識及び技能」や「思考力・判断力・表現力等」を生かして、よりよい生活を築こうとしたり、よりよく生きていこうとしたりする態度の観点を具体的に記述する。
 - ・各活動・学校行事において、目標をもって粘り強く話し合いや実践活動に取り組み、自らの活動の調整を行いながら改善しようとする態度を重視することから、「見通しをもったり振り返ったりして」という表現を用いる。
 - ・文末を「～しようとしている」とする。

なお、学級活動の内容のまともりは、学級活動（１），（２），（３）である。
次に学級活動（１）を例に評価規準作成の手順を示す。

＜学級活動「（１）学級や学校における生活づくりへの参画」を例にした手順＞

（ア）学習指導要領の「特別活動の目標」と自校の実態を踏まえて改善等通知の例示を参考に作成した特別活動の評価の観点を確認する。

（イ）「学級活動の目標」及び学習指導要領解説で例示した「学級活動（１）において育成を目指す資質・能力」を確認し、自校として育成を目指す資質・能力を設定する。

【中学校学級活動の目標】

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第１の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

【学級活動（１）において育成することが考えられる資質・能力の例】

学級活動（１）においては、例えば次のとおり資質・能力を育成することが考えられる。

- 学級や学校の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
- 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

（中学校学習指導要領解説特別活動編 P46）

（ウ）観点ごとの評価規準を作成する。

学習指導要領第5章第3の1の(2)で、次のとおり示している。

（2）各学校においては特別活動の全体計画や各活動及び学校行事の年間指導計画を作成すること。その際、学校の創意工夫を生かし、学級や学校、地域の実態、生徒の発達の段階などを考慮するとともに、第2に示す内容相互及び各教科、道徳科、総合的な学習の時間等の指導との関連を図り、生徒による自主的、実践的な活動が助長されるようにすること。また、家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫すること。

学級活動においても、生徒の発達段階などを考慮し、評価規準を作成することが考えられる。

【学級活動「（1）学級や学校における生活づくりへの参画」の評価規準（例）】

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
学級や学校の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。 合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだすことができる。 課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。	学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。

＊ 学級活動（1）以外の学級活動（2）（3）、生徒会活動、学校行事（5種類）についての評価規準の設定例は補足資料参照のこと。

＊補足資料

【学級活動「（２） 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の評価規準（例）】

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。 適切な意思決定を行い実践し続けていくために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への適応及び自己の成長に関する課題を見いだすことができる。 多様な意見をもとに自ら意思決定して実践している。	他者への尊重と思いやりを深めてよりよい人間関係を形成しようとしている。 他者と協働して自己の生活上の課題解決に向けて、見通しをもったり振り返ったりしながら、悩みや葛藤を乗り越え取り組もうとしている。 自他の健康で安全な生活を構築しようとしている。

【学級活動「（３） 一人一人のキャリア形成と自己実現」の評価規準（例）】

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解している。 現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けている。	現在の学習と将来の生き方や進路についての課題を見いだすことができる。 主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献すること、自己の将来について、適切な情報を収集して考え、意思決定して実践している。	現在の生活や学習を振り返ったり、将来の生き方を見通したりしようとしている。 働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとしている。

【生徒会活動の評価規準（例）】

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
生徒会やその中に置かれる委員会などの異年齢により構成される自治的組織における活動の意義について理解している。 全校の生徒をもって組織する大きな集団での活動のために必要なことを理解し行動の仕方を身に付けている。	生徒会において、学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだすことができる。 全校の生徒をもって組織する大きな集団における課題解決のために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したり	自治的な集団における活動を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と協働し、学校や地域社会における生活改善を図ろうとしている。 ３年間や全校という視野で見通しをもったり振り返ったりしながら、よりよい学校生活を

	している。	築こうとしている。
--	-------	-----------

【学校行事「（１）儀式的行事」の評価規準（例）】

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解している。 規律や気品のある行動の仕方などを身に付けている。	学校生活の節目の場において先を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をしている。	厳粛で清新な気分を味わい、行事を節目として、見通しをもったり振り返ったりしながら、新たな生活への希望や意欲につなげるようとしている。

【学校行事「（２）文化的行事」の評価規準（例）】

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
美しいものや優れたものを創り出し、自ら発表し合ったり、芸術的なものや伝統文化を鑑賞したりする活動に必要な知識や技能を身に付けている。	日頃の学習活動の成果発表や芸術、伝統文化に触れ、個性を認め、互いに高め合いながら実践している。	文化的な視点から自己の成長を振り返ったり、見通したりしながら、自己を一層伸長させようとしている。

【学校行事「（３）健康安全・体育的行事」の評価規準（例）】

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等の非常時から身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身に付けている。 体育的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身に付けている。	自他の健康や安全にについて他者と協力して、適切に判断し実践することができる。 運動することのよさについて考え、集団で協力して取り組むことができる。	運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組もうとしている。 見通しをもったり振り返ったりしながら、健康安全・体育的行事に積極的に取り組もうとしている。

【学校行事「（４）旅行・集団宿泊的行事」の評価規準（例）】

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
豊かな自然や文化・社会に親しむことの意義を理解している。 校外における集団生活の在り	旅行・集団宿泊的行事において学校生活や学習活動の成果を活用できるように考えて実践	日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、見通しをもったり振

方，公衆道徳などについて理解し，必要な行動の仕方を身に付けている。	している。	り返ったりしながら，新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとしている。
-----------------------------------	-------	--

【学校行事「(5) 勤労生産・奉仕的行事」の評価規準（例）】

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
働くことの意義，社会的・職業的な自立について理解している。 ボランティア活動などの体験活動の仕方が身に付いている。	勤労生産や奉仕に関して自分のできることを判断し実践することができる。 多様な他者と協力してボランティア活動に取り組むことができる。	勤労観や職業感を深め進んで体験的な活動をしようとしている。 見通しをもったり振り返ったりしながら，社会奉仕の精神を養い，社会に貢献しようとしている。